

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あみぶらす2		
○保護者評価実施期間	令和8年1月24日		～ 令和8年2月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和8年1月20日		～ 令和8年2月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の情報共有とチーム支援体制	毎日のミーティングや申し送りを通じて、児童の様子や支援内容を共有し、共通理解のもと支援を実施している。HUG等を活用し記録・情報共有もを行っている。	長期休暇時などミーティングが難しい場合でも情報共有ができるよう、ICTの活用や簡易的な共有ツールの整備を進める。
2	個別性を重視した支援と柔軟な活動環境の提供	個別活動と集団活動を組み合わせた支援を実施。子どもの状況に応じて部屋の使い分けや落ち着けるスペースの確保を行っている。	より一層、子どもの自己選択や自己決定を促せるよう、活動内容のバリエーションを増やす。
3	保護者との連携・情報共有が日常的に行われている	送迎時の対話や記録システム(HUG)、SNS等を活用し、日々の様子や活動内容を伝えている。相談しやすい関係づくりを意識している。	保護者同士の交流機会(保護者会やイベント)の充実を図り、横のつながりの支援も行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者へのマニュアル等の周知が十分ではない	各種マニュアルは整備中だが、書面配布や説明の機会が不足していた。	事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応等のマニュアルを整理し、書面で配布する。
2	人員配置に対する不安(イレギュラー時の対応)	トイレ介助等が重なる際、一時的に人手不足を感じる場面がある。	業務の優先順位の整理や役割分担の明確化を行うとともに、必要に応じて人員配置の見直しや応援体制の構築を検討する。
3	ペアレントトレーニングや父母会の開催	支援の様子を見ていただきたい気持ちはあるが、実際に開催するとなると当然ながら準備が必要となるため、業務過多で新たな挑戦を行う余力がない。	まずは業務改善を図り、適切な開催方法を検討していきたい。